

道徳 評価の視点【4年】

教材名	四年生の道徳の学習が始まるよ 道徳ではこんな学習をするよ
ねらい	教材に示された文章をもとに、友達と考えを交流する活動をとおして、道徳科の学習における学び方を理解するとともに、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めようとする意欲をもたせる。
評価の視点	友達との対話をとおして、自分自身を見つめ、自分の考えを意欲的に伝え合うことができているか。 友達の発言を受容的に聞き、自分の考えとは違う意見を大切にしようとする態度で学習できているか。

教材名	つながるやさしさ 「優しさをつなげる」
ねらい	しおりの気持ちや行動の変化について話し合うこととおして、思いやりの気持ちをつなげることよきに気づき、自分にできることを考えて親切にしようとする判断力を育てる。
評価の視点	思いやりの心に対する他者の考え方にふれ、思いやりをもって優しく接することよきについて、多面的・多角的な視点で考えることができているか。 思いやりの気持ちをつなげていくことよきについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	心と心のあくしゅ 「心と心を重ねて」
ねらい	「心と心のあくしゅ」とはどのようなことかについて話し合うこととおして、本当の親切とは何かを考え、相手のことを思いやろうとする判断力を育てる。
評価の視点	親切に対する他者の考え方にふれ、相手を思いやることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 相手の状況や気持ちを考えて思いやることの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	ゆめは世界一のプロ野球マスコット 「自分のよいところを伸ばそう」
ねらい	島野さんが自分のよさに気づき、それを伸ばし続けようとした思いや行動を支えていた心の内について話し合うこととおして、自分の特徴を知り、さらに長所を伸ばそうとする心情を育てる。
評価の視点	自分のよさに対する他者の考え方にふれ、自分の特長に気づき、よいところを伸ばすことの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 自分の特徴を自覚して、よりよいところを積極的に伸ばしていくことの大切さについて、考えることができているか。

教材名	ほっとけないよ 「見て見ぬふりはしないで」
ねらい	ゆかさんを放っておけなかった「わたし」の考えや行動について話し合うことをとおして、正しい判断と行動をすることの大切さを考え、正しいことを考えてやり遂げようとする判断力を養う。
評価の視点	正しいと思ったことは自信をもって行うことに対する他者の考え方にふれ、正しいと思ったことをするために大切なことについて、多面的・多角的に考えることができているか。 よいことと悪いことを判断して、正しいと思ったことを行うことの大切さについて、自分との関わりで考えを深めることができているか。

教材名	十才のプレゼント 「言葉では表しきれない美しさ」
ねらい	父からのプレゼントにこめられていた思いについて話し合うことをとおして、身のまわりに美しいものがあることや美しいものに感動することがあることに気づき、美しいものや気高いものに感動しようとする心情を育てる。
評価の視点	美しいもの、感動するものなどに対する他者の考え方にふれ、美しいものに感動する心について、多面的・多角的に考えることができているか。 身近な美しいものに感動するよさについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	雨のバスでいりゅう所で 「きまりを守る」
ねらい	よしさんの行動について話し合うことをとおして、きまりを守ることの大切さに気づき、きまりを大切に生活しようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	きまりの意義やきまりを守ることに對する他者の考え方にふれ、きまりを守ることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 きまりを守ることの大切さについて、なぜ大切なのかを自分との関わりで考えることができているか。

教材名	学校のじまんを大切に 「よりよい学校をつくるために」
ねらい	学校の自慢を大切にしていきたいという「わたし」の思いについて話し合うことをとおして、自分の学校のよさに気づき、よりよい学校をつくらうとする心情を育てる。
評価の視点	学校のよさを大切にしていくことに対する他者の考え方にふれ、自分の学校のよさに気づき、より楽しい学校をつくることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 自分の学校のよさを理解し、よりよい学校をつくっていくことについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	プロレスごっこ 「いじめを許さない心」
ねらい	えみの行動とクラスの変化について話し合うことをとおして、いじめが起こったときにどうすればよいかを考え、誰に対しても差別したり、偏見をもったりすることなく、公正・公平に接しようとする判断力を育てる。

評価の視点	いじめに対する他者の考え方にふれ、いじめを解決するためにどうすればよいかについて、多面的・多角的に考えることができているか。 悪ふざけがいじめにつながることを理解し、いじめをしないことの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

教材名	目覚まし時計 「自分でできることは自分で」
ねらい	りかの心情と行動について話し合うことをとおして、自分でできることは自分ですることのよさや難しさに気づき、自分でできることは自分でしようとする心情を育てる。
評価の視点	自分でできることに対する他者の考え方にふれ、自分でできることを自分ですることのよさや難しさについて、多面的・多角的に考えることができているか。 自分でできることを自分ですることの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	守りたい自分のじょうほう 「安全に気をつけ、よく考えて」
ねらい	あきらの行動の問題点について話し合うことをとおして、安全に気をつけることの大切さと難しさに気づき、安全に気をつけてよく考えて行動しようとする判断力を育てる。
評価の視点	インターネットを利用する際に注意することなどに対する他者の考え方にふれ、安全に気をつけることの大切さと難しさについて、多面的・多角的に考えることができているか。 安全に気をつけ、自分の情報を守ることの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	あいさつでつながる 「真心をこめた挨拶」
ねらい	いろいろな挨拶の場面について体験的に学ぶことをとおして、挨拶のもつ力と挨拶の大切さに気づき、誰に対しても真心をこめた挨拶をしようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	挨拶の力や挨拶の大切さについて理解を深め、多面的・多角的に考えながら、役割演技を行うことができているか。 挨拶の大切さを理解し、誰に対しても真心をこめた挨拶をしようとするについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	かわいくない 「真心をもって態度で示す」
ねらい	千里がしたことの問題点と、このあとどうすればよいのかについて話し合うことをとおして、相手のことを考えた言葉づかいの大切さに気づき、誰に対しても真心をもって接しようとする心情を育てる。
評価の視点	挨拶や言葉づかいなど、相手の立場や気持ちに応じた対応をすることの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 日常生活の中のあいさつや言葉づかいなどの礼儀の大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	学校のれきし 「感謝の思い」
ねらい	ひかるたちの感謝の気持ちについて考えることをとおして、自分の生活がたくさんの人たちに支えられていることに気づき、生活を支えてくれている人たちに感謝の気持ちをもって接しようとする心情を育てる。
評価の視点	自分たちを支えてくれている人に対する他者の考え方にふれ、自分の生活が多くの人々によって支えられていることや感謝することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 自分の生活を支えてくれる多くの人々に感謝の気持ちをもつことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	かっこいいせなか 「すすんで働く」
ねらい	ゆうだいの心情の変化について話し合うことをとおして、みんなのために働くことよさに気づき、すすんで働こうとする心情を育てる。
評価の視点	みんなのために働くことに対する他者の考え方にふれ、すすんで働くことよさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 すすんで働くことよさを理解し、みんなのために働くことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	二宮金次郎の働き 「人の役に立とう」
ねらい	二宮金次郎の働き方について話し合うことをとおして、生きがいをもって働くことよさに気づき、みんなのために働こうとする心情を育てる。
評価の視点	みんなのために働くことに対する他者の考え方にふれ、働くことの大切さや生きがいをもって働くことについて、自分の経験と照らし合わせて、多面的・多角的に考えることができるか。 自分の役割を果たし、力を合わせて働くことの大切さを理解し、みんなのために働くことよさについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	だまっていればわからない 「謝ることよさ」
ねらい	「ぼく」を演じることについて体験的に学ぶことをとおして、正直であることの大切さに気づき、過ちや失敗は素直に改め、正直に明るい心で生活しようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	正直に明るい心で生活することについて理解を深め、多面的・多角的に考えながら、役割演技を行うことができるか。 正直であることの大切さを理解し、うそや偽りのない明るい生活をしようすることについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	仲間だから 「本当の友達とは」
ねらい	たくやさんの気持ちとゆいの思いについて話し合うことをとおして、本当の友達に対する考えを深め、友達と理解し合い助け合おうとする心情を育てる。

評価の視点	いじめに対する他者の考え方にふれ、いじめをなくすことの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 本当の友達になるために大切なことを理解し、友達と信頼し、助け合っていくことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

教材名	絵はがきと切手 「友達との信頼ときずな」
ねらい	友達に対するひろ子の母と兄の考え方の違いについて話し合うことをとおして、友達とのよりよい関係のあり方に気づき、友達と信頼し、助け合おうとする心情を育てる。
評価の視点	本当の友達に対する他者の考え方にふれ、友達とよりよい関係を築くことの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 友達と信頼し、助け合うことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	ブラッドレーのせいきゅう書 「家族のためにできること」
ねらい	お母さんの請求書にこめられた思いについて話し合うことをとおして、家族の大切さに気づき、自分が家族のためにできることを考えて役立とうとする判断力を育てる。
評価の視点	家族のためにできることに対する他者の考え方にふれ、家族の大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 家族の大切さを理解し、家族のために何ができるかについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	お父さんのラーメンがいちばん 「家族のためにできること」
ねらい	家族みんなでラーメン屋さんができることのよさについて話し合うことをとおして、家族の愛情に対する考えを深め、家族みんなで楽しい家庭をつくらうとする心情を育てる。
評価の視点	家族に対する他者の考え方にふれ、家族の愛情や家族のよさについて、多面的・多角的に考えることができるか。 家族のよさについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	ゆめに向かって泳ぐ——寺川 綾—— 「夢のために粘り強く」
ねらい	練習に取り組み続けた寺川選手を支えていたものについて話し合うことをとおして、諦めずに粘り強く続けることの大切さに気づき、目標に向けて努力し続けようとする心情を育てる。
評価の視点	諦めずに粘り強く取り組むことに対する他者の考え方にふれ、強い意志をもって努力することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 目標をもって諦めずに粘り強くやりぬくことの大切さについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	一步一步の積み重ね——伊能忠敬—— 「夢に向かって歩み続けよう」
ねらい	目標に向かって歩み、偉業を成し遂げた伊能忠敬の生き方について話し合うことをとおして、諦めずに粘り強く続けることの大切さに気づき、目標に向けて努力し続けようとする心情を育てる。
評価の視点	目標に向かって努力を続けることに対する他者の考え方にふれ、強い意志をもって諦めずに努力することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 目標をもって諦めずに粘り強くやりぬくことの大さについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	受けつがれてきた命——屋久島三代杉—— 「自然の美しさ」
ねらい	屋久島三代杉の美しさや不思議さについて話し合うことをとおして、自然の偉大さに気づき、自然環境を大切にしようとする心情を育てる。
評価の視点	自然や植物の美しさや不思議さに対する他者の考え方にふれ、自然や植物のすばらしさについて、多面的・多角的に考えることができているか。 自然や植物のすばらしさを理解し、自然や植物を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	タイガとココア 「自然を大切にすること」
ねらい	タイガとココアの姿や動物園の職員の思いについて話し合うことをとおして、動物の命のいとおしさに気づき、動物を大切にしようとする心情を育てる。
評価の視点	自然や動植物を大切にすることに対する他者の考え方にふれ、自然や動物のすばらしさについて、多面的・多角的に考えることができているか。 自然や動物のすばらしさを理解し、自然や動物を大切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	世界の子どもたちのために 「世界の人々や文化に目を向けて」
ねらい	マーサちゃんの行動について話し合うことをとおして、日本と他国の文化に違いがあることに気づき、世界の人々や文化への理解を深めようとする心情を育てる。
評価の視点	世界を知ることの大切さに対する他者の考え方にふれ、世界の国々について理解することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 世界を知ることの大切さについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	日本人が世界に広めたすごいもの 「日本から世界へ広がった新たな生活」
ねらい	日本で発明された物品について話し合うことをとおして、日本の文化への考えを深め、大切にしようとする心情を育てる。
評価の視点	日本人が発明した物などに対する他者の考え方にふれ、日本の文化や日本人のよさについて、多面的・多角的に考えることができているか。 日本の文化や日本人のよさについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	やっぺし 「地域の人々とのふれ合いを大切に」
ねらい	東日本大震災後にボランティアに行った先生の体験と思いについて話し合うことをとおして、地域を大切にすることのよさに気づき、伝統と文化を大切にしようとする心情を育てる。
評価の視点	郷土や伝統・文化に対する他者の考えにふれ、郷土や伝統・文化を大切にすることについて、多面的・多角的に考えることができるか。 わが国や郷土を愛し、地域を大切にすることのよさについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	わかってくれてありがとう 「相手の意見も大切に」
ねらい	互いの考えを交流させたなつみさんとまさとさんについて話し合うことをとおして、互いに理解し、尊重し合うことのよさに気づき、自他の意見を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。
評価の視点	友達の意見を尊重することの大切さに対する他者の考え方にふれ、自分と違う意見について理解することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 友達の意見を尊重することの大切さを理解し、互いにわかり合うために大切なことについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	おばあちゃんとの思い出 「つながり、支え合う命」
ねらい	つよしのおばあちゃんが残してくれたものについて話し合うことをとおして、命が周りの人に支えられていることに気づき、命を大切に生きていく心情を育てる。
評価の視点	命の大切さに対する他者の考え方にふれ、相手の考えを理解することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができるか。 自分の命は多くの人たちによって支えられているということについて、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	命——せいっぱい生きる—— 「精いっぱい生きよう」
ねらい	由貴奈さんが考える「命」について話し合うことをとおして、一つしかない命の尊さに対する考えを深め、精いっぱい生きようとする心情を育てる。
評価の視点	命に対する他者の考え方にふれ、「生きること」や「命」について、多面的・多角的に考えることができるか。 命の大切さを理解し、「せいっぱい生きること」について、自分との関わりで考えることができるか。

教材名	その日の朝に 「困っている人のためにできること」
ねらい	老夫婦の行動について話し合うことをとおして、困っている人のことを親身になって考えることの大切さに気づき、相手のことを考えて親切にしようとする心情を育てる。

評価の視点	相手を思いやることに対する他者の考え方にふれ、相手のことを親身になって考えて親切にすることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 相手のことを考えて親切にすることについて、自分との関わりで考えることができているか。
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

教材名	ゆうびんの父——前島 密—— 「目標に向かってやりぬく」
ねらい	前島密のすごいところについて話し合うことをとおして、目標に向かってやりぬくことの大切さに気づき、自分の目標に向かって努力しようとする心情を育てる。
評価の視点	努力することに対する他者の考え方にふれ、目標に向かって努力することの大切さについて、多面的・多角的に考えることができているか。 目標に向かってやりぬくことのよさについて、自分との関わりで考えを深めることができているか。

教材名	日本人の手でオルガンを——山葉寅楠—— 「オルガンを作るために」
ねらい	目標に向かってがんばる人や応援してくれる人について話し合うことをとおして、目標を実現するためには周りの人の励ましも大切であることに気づき、粘り強くやりぬこうとする心情を育てる。
評価の視点	努力することに対する他者の考えにふれ、目標達成のために支え合うことのよさについて、多面的・多角的に考えることができているか。 目標実現のために他者と関わり合いながら向上していくことのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	かことげんざいがともに生きる町——川越蔵造り—— 「郷土のよさを見直そう」
ねらい	郷土のよいところを知り、大切にすることについて話し合うことをとおして、自分たちの郷土のよさに対する考えを深め、郷土の伝統や文化を大切にしようとする心情を育てる。
評価の視点	地域の人々や生活に対する他者の考え方にふれ、地域の生活や伝統・文化を大切にすることについて、多面的・多角的に考えることができているか。 自分が暮らす地域の伝統や文化を大切にすることのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。

教材名	希望と勇気をうたにのせて——東北うたの本—— 「ふるさとの歌を大切に」
ねらい	海鋒義美が作曲した歌にこめた思いについて話し合うことをとおして、郷土を大切に思うことに対する考えを深め、郷土を大切にしようとする心情を育てる。
評価の視点	ふるさとに対する他者の考え方にふれ、海鋒義美と仲間たちが希望や勇気を与えたいという思いをこめて作った歌の意味について、多面的・多角的に考えることができているか。 ふるさとを愛することのよさについて、自分との関わりで考えることができているか。

